

2009年度 公共政策学教育部 交換留学生募集要項

協定校	 <p>ヘルティール・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG) http://www.hertie-school.org/home.php?nav_id=363</p>
所在地	ドイツ、ベルリン
(授業での)使用言語	英語
募集期間	
募集人数	1～2名
派遣期間	①2009年9月～2009年12月 2009 Fall Term
東大での身分	「留学」
派遣先での身分	特別聴講学生 (non-degree student)
授業料	派遣先では不徴収。東大では授業料を納入。
単位認定	東大で「留学」の場合は、単位認定申請により認められた場合は23単位を超えない範囲で認定。
奨学金制度	1. 東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費への申請可 2. 寄付金奨学制度への申請可 **受給は審査合格者のみ
応募資格	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア: CBT250点 (iBT100点、PBT600点) 以上が望ましい。最低でもCBT247点程度は必要。 ③職業経験があるとより望ましい (必須条件ではありません)。
応募書類 公共政策学教育部提出 用	①海外交換留学申請調書 (HSoG用) ②TOEFL成績証明書 (原本又は写) *入試時に提出したを差し替える場合のみ提出。ただし過去2年以内(2007年1月以降)に受験したものに限る。 ③成績証明書 (英文)の原本又は写 **本教育部に在籍しているものは免除。 ④CV ⑤Motivation Letter

<p>応募書類提出方法 提出先</p>	<p>応募書類は電子データ又は紙媒体で提出してください。 電子データ提出先: e-mail: exchange09@pp.u-tokyo.ac.jp 紙媒体提出先: 郵送または持参(平日10:00~16:00): 東京大学大学院公共政策学教育部 国際交流担当宛て(第二本部棟6階 616号室) *電子データ及び郵送の場合どちらも、3/30(月) 正午 必着 (厳守)</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>問い合わせはE-mailにて受け付けます。 exchange09@pp.u-tokyo.ac.jp (国際交流担当)</p>
<p>スケジュール (予定は変更される場合があります)</p>	<p>募集:2009年2月27日(金)~3月27日(金) 正午 書類選考:4月初旬 GraSPP教員の面接:4月6日(月) 13:00~14:30 GraSPP側での合格者決定:4月中旬 HSoG教員の面接(ある場合):4月中旬 HSoGへの書類提出:4月中旬(国際交流担当へ提出) HSoGより合格者決定:5月上旬 ビザ手続き、その他準備:5~8月 出発:9月 秋学期開始日:9月1日(火) 授業開始:9月7日(月)</p>
<p>注意事項</p>	<p>要項の内容の調整及び、最新情報がある場合には、随時HPにて、情報提供をしていきますので、この掲示に気を付けてください。</p>

大学別応募要領

特色	ヘルティール財団の出資により2003年に開校したドイツでは初めての公共政策学の専門職学位課程です。2005年にはベルリン政府より高度な教育を施す機関として表彰を受けています。
参考HP	http://www.hertie-school.org/home.php?nav_id=363 http://www.hertie-school.org/home.php?nav_id=1980
趣旨と前提条件	<p>①この交換留学制度は、東京大学大学院公共政策学教育部に在籍中学生が対象です(来年度から入学が決まっている学生も応募することができます)。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分できる学生が、その語学力を生かして東京大学公共政策学教育部とは異なる環境で学習することです。その趣旨を十分ご理解の上、応募ください。</p> <p>②応募資格にある基準をクリアしていても、スタートアップ講習等の補習が必要と派遣先大学が判断した場合には、補修を受けなければならない場合があります。その場合の費用は自己負担です。</p> <p>③派遣先大学への入学手続き、ビザの申請、宿舍の準備、単位認定の調査・申請等、留学に係るすべての手続き及び準備は自己の責任において行ってください。</p> <p>④留学のために発生する授業料以外の費用はすべて自己で負担していただきます。</p>
履修済み前提	特になし
留学中の身分と授業料	<p>この交換留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、協定大学へ留学していただきます。協定大学では学位を取らない特別身分の学生(特別聴講学生)となります。留学期間中の授業料は東京大学へ支払い、留学先の大学へは授業料を支払いません。</p> <p>東京大学では、入学後に「休学」という身分で、他大学院へ留学すると、休学期間は授業料を免除されますが、その期間は在学年数に算入されず、留学先で履修した科目を帰国後に単位認定することはできません。</p>
単位認定・振り替えについて	<p>(現在、東大と協定大学とのダブル・ディグリー制度を導入すべく検討を進めていますが、大規模な制度調整が必要となりますので、2009年度はまだ実現できません。)</p> <p>本人の申請により、帰国後に協定大学において履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。内容、授業時間、単位数等を東京大学の規則に則り認定の可否を審議しますので、すべての単位が認定されるわけではありません。修了要件を満たすためにしっかりとスケジュールを立て、取りたいクラスが決まった時点で東大で認定可能かどうかよく確認するようにしてください。なお、審査により本教育部の開設科目、基幹科目、展開科目に振り替え可能な場合があります。</p>
	単位認定についての相談窓口： 佐橋 亮 助教 e-mail address: sahashi@pp.u-tokyo.ac.jp

<p>留学先の提供する授業について *各大学のHPに掲載されています。 各自検索してください。</p>	<p>http://www.hertie-school.org/content.php?nav_id=399</p> <p>http://www.hertie-school.org/downloadcenter.php?nav_id=2049</p>
<p>留学のモデルコース</p>	<p>留学期間は、最長6カ月間です。HSoGの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第1週より12月中旬までです。 (A)二年生が、秋学期の半年間留学。帰国後3月に卒業。(B)一年生が、秋学期より半年間留学、帰国後一年を経て卒業。 日程については、下記URLを参照してください。</p>
<p>参考HP</p>	<p>http://www.hertie-school.org/events.php?nav_id=513</p>
<p>費用</p>	<p>前述のように、留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自リサーチをしてください。</p>
<p>参考HP</p>	<p>http://www.hertie-school.org/content.php?nav_id=412</p> <p>http://www.hertie-school.org/content.php?nav_id=415</p>
<p>各種保険の比較サイト</p>	<p>http://www.i-hoken.jp/</p>